

道しるべ

第1号

令和4年4月29日発行
進路指導部

未来へのスケッチ

校長 高橋 譲

この4月にゆり支援学校に入学した、小学部6名、中学部12名、高等部16名、そして道川分教室の中学部1名、計35名の新たな学校生活が始まりました。入学式の式辞の中で、「3年後、皆さんが夢を叶えられるよう、応援します。」と、高等部入学の生徒に向けて話しました。応援するだけなんて無責任なのかもしれませんが、夢は周りの人に叶えてもらうものではなく、自分で叶えるからこそ価値のあるものなのだと思います。本校で作成している「未来へのスケッチ」は、児童生徒が自分の夢は何か、夢を叶えるために、自分で何をがんばるのか、そのために学校や家庭で手助けしてほしいことは何か、そして、時々振り返ってみて、自分が成長し、夢に近づけたか、といったことを書きためていくものです。



「夢」といっても、「〇〇会社で働きたい」といったものから、「〇〇〇（アニメのキャラクター）になりたい」といったことまで、人それぞれです。私自身、小学校6年生の時に「夢は、コンピュータの研究をしてノーベル賞を取る」と書いた記憶があります。どんなことでも「そんな夢のようなこと」といわず、夢を叶えるための道筋や、具体的な目標を考えていくことが大切です。アニメのキャラクターになりたいのはどうしてか、見た目なのか、中身なのか、具体的に掘り下げ「強くなりたい」「正しくありたい」「優しくありたい」など、目指す姿を少し具体的に、それに対して今の自分はどうか、これから自分は何をしていけば良いのかを一緒に考えていければ良いのだと思います。そして、大谷翔平選手の夢実現マンダラシートのように、夢実現のために、達成すべき具体的な目標と、目標達成のために何を努力するのかを書き出し、さらに、自分一人ではできないことや周囲に手伝ってほしいことを書き加えることで、「未来へのスケッチ」を描いていくことが、子どもたち一人一人が「夢の実現」に向かっていくことにつながると思います。

進路の手引きをリニューアルしました

今年度から「進路の手引き」を新しくしました。今後は、本校のホームページ上でも閲覧できますのでご活用ください。内容は、本校の進路学習や進路状況などについてです。

各市の福祉サービスの情報は、毎年更新されますので、由利本荘市は「福祉のしおり」、にかほ市は「障がいを持つ人のためのガイドブック」をインターネットで検索していただくか、各市福祉課でお尋ねください。



未来へのスキッチの作成～小学部から高等部まで～

みらいのゆめ	みらいへのスキッチ	
ふ	ねん	くみ
なまえ		
が	がんばること	
っ	てつだってほしいこと	
こ		
う		
い	がんばること	
え	てつだってほしいこと	

↑小学部の様式

昨年度まで中学部と高等部の生徒が作成してきた未来へのスキッチを、今年度から小学部も作成します。

小学部は「学校」と「家庭」、中学部・高等部は「学習」と「生活」、「地域」における目標を立てます。目標を立てる際は、児童生徒と、場合によっては保護者と対話しながら目標を立て、児童生徒が主体的に目標を設定できるように留意します。また、支援してほしいことを本人も周囲の人も考えられるようにしています。

年度末には、振り返りに対して保護者の方からもコメントをいただくようになっていきます（昨年度は、学期ごとでしたが、今年度から年に1回としました）。

1年間の子どもの成長を見守り、学習の成果を次の年（未来）へつなげられるよう、御協力をよろしく願います。

がんばれ卒業生！！

令和3年度卒業 木村和希さん

秋田ダイハツ販売株式会社本社（秋田市）での研修（4月1日から2週間）を終え、本荘店で4月17日から勤務しています。

木村さんの意気込みは、秋田ダイハツ販売株式会社のホームページ（ブログ）でも紹介されていますので、是非ご覧ください。

木村さんに質問

Q：就労するために大切なことは何ですか？

A：何よりも挨拶が一番大切だと、在学時にも習っていましたが、会社の研修でも改めてその大切さを感じました。研修で印象に残っているのは、「挨拶ができないと、人は寄ってこない。挨拶ができていれば、仕事のミスもカバーできる。」という言葉です。

Q：後輩に何かアドバイスするとしたら？

A：誰に見られても恥ずかしくない言動と行動を心がけて、がんばってください。

